

## 令和7年度秋田県放課後児童支援員等認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります。)

### <県南会場>

#### 科目 ⑪保護者との連携・協力と相談支援

- ◆ 子育ての社会環境の変化は、保護者の子育ての不安感や負担感の増加により周りに相談する相手がいないことも理由とされていることが理解できた。そうした悩みを言えずに抱えている人のためにバイスティックの7原則や非言語的コミュニケーションなどの保護者への対応スキルを念頭に置き、関わりながら子育てへの不安を解消していかなければならないと感じた。「伝えたいこと」だけでなく思いやりも伝わる関わり方をしたい。
- ◆ 対人関係に関わる基本原則を示すバイスティックの7原則を知ることができてよかったです。受容、感情表出の促進、統制された情緒的関与、個別化、非審判的態度、自己決定の尊重、秘密保持、これらを日頃から意識して保護者への対応に努めていきたいと思いました。保護者が成長するために必要な自信をもってもらえるよう、子育てを「ほめる」「認める」を実践していきたいと思いました。
- ◆ 「バイスティックの7原則」という内容を聞き、一つ一つのテーマが大切であり、親の考えを尊重するということに気を付けないといけないと感じました。保護者に対しての苦手意識やマイナスイメージをなくし、些細なことでも丁寧に伝え、思いやりをもって関わることを大切にしたいです。子どもと保護者と一緒に学び、支援員の思いを正しく伝えることが信頼へとつながっていくのだと思います。
- ◆ 保護者との連携、協力と相談支援について具体的事例を通して様々な保護者対応のケースを学ぶことができた。子どもたちが人と関わる経験が少なくなったり、生活環境が変化したりすることにより、保護者の子育ての不安感、負担感が増加していること、それを受けて現場に期待される役割はますます大きくなっていることを実感した。保護者への対応スキルや柔らかな関係を構築することなどを心にとめて実践に活かしたい。
- ◆ 保護者や子どもたちの生活環境が変化していて保護者の不安や負担が増加している中で、保護者の気持ちを受け止め信頼関係を築いていくことが大事だということを学びました。相談への対応の仕方では、同じ言葉でも人それぞれ受け取り方が違うので、日頃からコミュニケーションをとることが大切であり、マイナスになるような言葉を使わないように気を付けながら、安心して施設を利用してもらえるように支援していきたいです。